

# 令和4年度（2022年度）公共事業再評価調書

（様式3）

基準年月日 令和4年8月1日

調書番号	08-05	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局道路課長 泉 智夫
				担当係	道路計画係（内）29-218

## I 基本事項（基準日時点）

事業種別	道路改築事業費（社会資本整備総合交付金）							
地区名	かみむつこうらかわていしやじょうせん 上向別浦河停車場線	市町村名	浦河町	総事業費	6,880 百万円			
負担割合	国	60.0%	道	40.0%	市町村	-	その他	-
		4,128 百万円		2,752 百万円		- 百万円	- 百万円	

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災拠点へのアクセス確保 津波により浸水が予測される国道235号・236号の代替路線として、災害時に災害対策地方本部となる日高振興局等のアクセスを確保</li> <li>●津波発生時の避難路の確保 堺町東側地区住民の安全な避難ルートを確認</li> <li>●役場代替施設へのアクセス確保 浦河町役場は津波浸水予想区域内にあり、災害時に役場代替施設となるファミリスポーツセンターへのアクセス確保</li> <li>●地域医療への貢献 日高振興局管内唯一の地域センター病院であり災害拠点病院でもある浦河赤十字病院へのアクセスの向上</li> </ul>				
	【アウトカム】等 <ul style="list-style-type: none"> <li>●津波避難時間の短縮</li> <li>●災害拠点施設の孤立化解消</li> <li>●救急搬送の時間短縮</li> <li>●町内移動の利便性向上</li> </ul>				

事業概要	上向別浦河停車場線は、浦河町上向別地区と浦河駅を結ぶ路線である。そのうち当該区間は、浦河町地域防災計画で防災道路と位置づけられており、当該区間の整備により、津波等の災害時に災害対策地方本部となる日高振興局へのアクセスや地域住民の避難路を確保するとともに、地域住民の生活や地域医療の向上等を図る。	工事費内訳	計画延長：L=2.0km	(百万円)	(百万円)	(百万円)
			計画幅員：W=1.25+6.00+1.25m	前回評価	今回評価	増減額
			道路工 L=2.0km→L=1.4km	5,043	1,878	△ 3,165
			橋梁工 L=11m	50	50	0
			トンネル工 1号L=0.2km 2号L=0.4km		3,974	3,974
			測量設計費 調査・設計	587	878	291
			用地費及補償費 用地買収・物件補償	100	100	0
			計	5,780	6,880	1,100

総合計画での位置付け	総合計画の体系	大項目	中項目	小項目	施策名
		生活・安心	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服	大規模自然災害対策の推進（強靱化）

特定分野別計画等での位置づけ	施策目標・方針	【計画名：北海道強靱化計画 P44】 （道内交通ネットワークの整備） 災害時における広域交通の分断を回避するため、高規格幹線道路と中心市街地を連結するアクセス道路の整備をはじめ、地域高規格道路や緊急輸送道路、避難路等の整備を計画的に推進する。
	関連する指標	-

## II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初	H28 (2016)	H28 (2016)	H26 (2014)	H35 (2023)	6	事業費	4,800	1,920			
前回再評価	H28 (2016)	H28 (2016)	R3 (2021)	R9 (2027)			5,780	2,312	55	571	10%
今回評価			R4 (2022)	R12 (2030)			6,880	2,752	5	855	12%

変更理由・内容（概要）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体事業費</li> <li>●重金属含有土対策のため工法変更（開削工法⇒トンネル工法）</li> <li>●資材・労務単価の上昇に伴う増額</li> <li>●トンネル工への工法変更に伴う詳細設計、調査費の増額</li> <li>●事業期間</li> <li>●トンネル工への工法変更に伴い工事工程を見直したことにより事業期間を延伸</li> </ul>
-------------	--

## III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>●津波発生時に防災拠点である日高振興局への唯一の道路である国道235号が浸水想定区域内にあるため、防災機能強化及び被災時の物資輸送等確保を求められている。</li> <li>●浦河町地域防災計画において、防災道路と位置づけられている。</li> <li>●平成25年度（2013年）3月 ルート変更により同区間道認定。</li> <li>●平成26年度（2014年度） 公共事業（大規模等）事前評価において承認。</li> <li>●平成28年度（2016年度） 事業着手</li> </ul>
2. 事業検討の手續（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成22（2010年度）年度から浦河町より社会資本整備推進協議会、日高総合開発期成会にて事業要望。</li> <li>●浦河町地域防災計画（平成26年（2014年）3月策定）において、防災道路と位置づけられている。</li> </ul>

3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災拠点である日高振興局の孤立化解消 防災機能評価 整備前：レベルD 整備後：レベルC に改善。</li> <li>● 津波災害発生時の避難時間が短縮</li> <li>● 浦河赤十字病院への救急搬送時間が短縮</li> </ul>				
4. 関連する事業	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容
	町道栄丘東通1号線	浦河町	H30(2018)~R6(2024)	436	現道拡幅、線形改良L=0.34km

#### IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画															
	施工(工種)区分	工事内容	H28	~	R2	R3	4	5	6	7	8	~	12	進捗状況	事業費(百万円)	
	道路工事	L=1.4km W=8.5m													12%	1878
	橋梁工事	L=11m													100%	50
	トンネル工事	L=0.2km L=0.4km													0%	3974
	測量設計費	調査・設計													63%	878
用地費及補償費	用地買収・物件補償													44%	100	
															0	
	(2) 進捗状況															
	<p>重金属含有土の処理対策検討に時間を要していたが、令和3年度の検討において、汚染土処理費用が膨大な金額となることから、トンネル案への変更に決定。今後は概ね計画とおりに進捗が図られる見込み。</p>															
	b	<p>a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画・期間等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。</p>														

2. 事業効果	評価手法				
	評価指標	整備前		整備後	評価内容
	防災機能評価レベル	D	⇒	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 整備前は、津波災害時に日高振興局へのアクセスが不能</li> <li>● 整備後は、当該区間を通行することで日高振興局へのアクセスが可能</li> </ul>
	北海道における道路事業の評価マニュアル「防災機能の評価マニュアル」に基づき算出				

3. コスト削減などの取組	取組の項目	取組内容	削減額(百万円)
	重金属含有土の削減	重金属含有土処理費削減のため、開削工法からトンネル工法に変更	19,599
	縦断計画の見直し	トンネル工法採用に伴い土工量バランスに配慮した道路縦断計画へ見直し	8

#### V 評価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国道235号、国道236号は津波による浸水が予想されており、津波災害時に災害対策地方本部となる日高振興局が孤立するため、日高振興局へのアクセスを確保する必要がある。</li> <li>● 浦河町地域防災計画において、防災道路と位置づけられている。</li> </ul>					
	a	<p>a: 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b: 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c: 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>				
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画区域内において、事前調査により希少動植物の生息が確認されたため、環境調査及び希少動植物の移植を実施。</li> <li>● 計画区域内に新たな埋蔵文化財が確認されたため、記録保存を目的とする発掘調査を実施。</li> <li>● 土壌汚染対策法の溶出量基準を超過する重金属(セレン、ヒ素、ホウ素、鉛)を含有した岩盤については、敷地内での盛土処理を予定。</li> </ul>					
	(2) 事業推進に対する住民の動向					
3. 事業達成の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本道路は、国道が地震や大津波などにより通行止めとなった場合、災害拠点病院である浦河赤十字病院(災害拠点病院)、日高振興局(地域防災拠点)へのアクセス道路であり、また災害時の復興道路としての役割も大きく地域住民の「安全・安心」を担う道路として非常に重要な路線であることから、早期開通の要望をうけている。</li> </ul>					
	(3) その他の課題					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本道路と国道235号を結ぶ町道栄丘東通1号線は、浦河町がまきば通へのアクセス道路整備として、平成30年度(2018年)から令和6年度(2024年)の事業期間として事業を実施しており、本道路接続部分となる起点区間(L=750m区間)については、連携が必要。</li> </ul>					
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元住民・期成会・自治体からの早期完成要望が強いことから、事業を継続する。					
	a	<p>a: 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b: 課題はあるものの達成は可能である。 c: 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>				
	事業の必要性に変化なく、地元住民・期成会・自治体からの早期完成要望が強いことから、事業を継続とする。					
	a	a: 継続 b: 終了 c: 休止 d: 中止				
	事業期間変更の有無	有	事業内容変更の有無	有	総事業費変更の有無	有

**VI 備考**

1. 評価履歴	【評価結果】 事前評価：平成26年度（2014年度）評価 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C：－ 再評価：令和3年度（2021年度）評価 評価結果：継続（変更なし） B/C：－
	【特記事項】
2. その他の取組事項	

**補足資料**

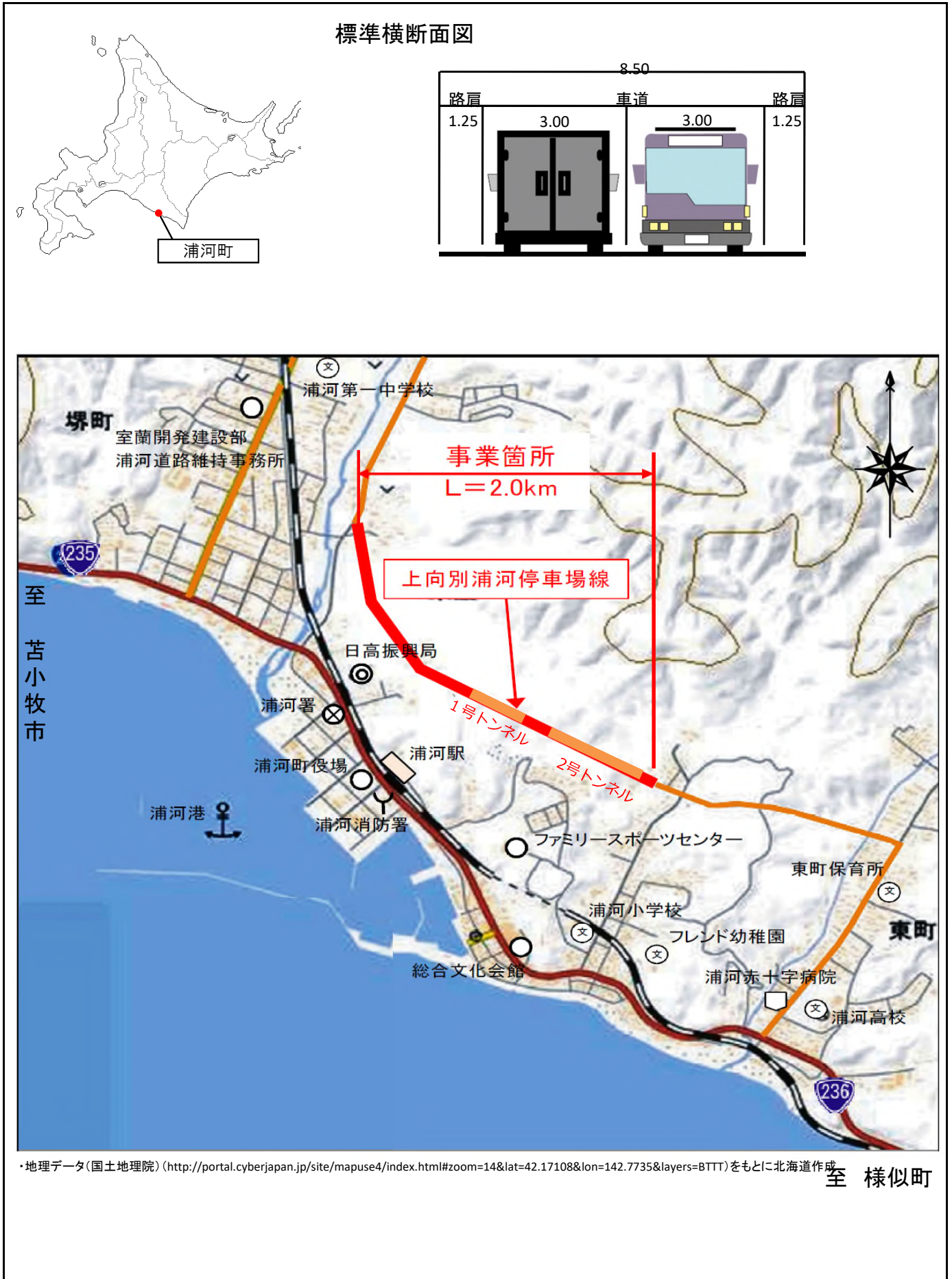
**VII 事業計画変更**

事業経過							経年数	事業費			
	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		総事業費 (a)	当該年度事業費	累計事業費 (b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価又は当初		H28 (2016)	H28 (2016)	H26 (2014)		H35 (2023)	6	4,800			
変更①	1回目	H28 (2016)	H28 (2016)	R3 (2021)	R3 (2021)	R9 (2027)		5,780			
変更②	2回目			R4 (2022)	R4 (2022)	R12 (2030)		6,880	5	855	12%
変更③											
変更④											
変更⑤											
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩											
変更理由・内容	変更①：事業期間・総事業費の変更 ・稀少動植物の環境調査・移植及び埋蔵文化財の発掘調査による事業費の増額 ・重金属含有による対策工検討による事業費の増額 ・資材及び労務単価の上昇や消費税率の変更 など ・埋蔵文化財発掘調査や重金属処理の検討に時間を要したことによる事業期間の延伸 変更②：事業期間・総事業費の変更 ・重金属含有土対策のため工法変更（開削工法⇒トンネル工法） ・資材・労務単価の上昇に伴う増額 ・トンネル工への工法変更に伴う詳細設計、調査費の増額 ・トンネル工への工法変更に伴い工事工程を見直したことにより事業期間を延伸										

# 事業概要図

事業名	道路改築事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	上向別浦河停車場線
-----	--------------------------	-----	-----------

## 事業地区位置図



至 様似町